



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り

令和5年 7月学期末号

ヨハネスブルグ日本人学校



安全で楽しい冬休みを!



本日、1学期終業式を無事に迎えることができました。約3か月の期間、充実した教育活動を行えたことに心より感謝申し上げます。今年は寒さが一段と厳しく、ヨハネスブルグに、11年ぶりに雪が降り、雪を集めたり様子を眺めたりして子供たちも大喜びでした。きっと思い出に残る出来事だったことでしょう。

今学期は、「ふれあいウィーク」と「野外学習活動」を6月中旬に行いました。例年1月に実施していましたが、昨年度の教育活動の振り返りと反省に基づき、今年度から実施時期を変更しました。学校を出て、制作活動など貴重な経験をしたり、宿泊しながら食事をつくったり、大自然にどっぷり浸ったりしました。その結果、子供同士の様々な関係が強まり、お互いの良さを認め合えたことで、その後の多くの行事でも活かされるなど、たくさんの成果が得られたこともうれしい限りです。

また、1学期に、「ワンダーランド幼稚園」「オランダ子どもの家」との国際交流を行いました。交流相手の子供たちとペアやグループごとに日本の遊びを一緒に行うなど積極的に関わることができていました。お互いの違いを感じながら、相手を思いやる場面も多々見られました。何より普段学んでいる英会話を活かして、コミュニケーションを積極的に図ろうとする姿に多くの教員が感動していました。

冬季休業は、「学校を離れ、家庭や地域で学ぶ期間」です。時間的にも余裕のある冬休みだからこそ、自然とふれあったり、何かを研究したり、作品を作ったり、苦手な教科を復習したりと、普段ではなかなかできない体験や学習にぜひ取り組んでほしいと思います。そして、「最後までやり切った。」という達成感をぜひ味わってほしいと願います。

常々の活動に併せて、カレー給食を提供して下さったPTAの皆様、保護者の皆様に心より感謝いたします。どうぞ、ご家族の皆様のご健康と安全に留意され、子供たち一人一人にとって充実した冬休みとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。



□ソーラーパネル等設置工事のお知らせ□

冬休みに入ると同時に、校舎屋上へのソーラーパネルの設置工事を行います。本校、運営委員長金井様はじめ委員の皆様、日本人会会長小出様をはじめとする日本人会幹事会(学校理事会)の皆様にご承認を頂き、着工する運びになったものです。心から御礼申し上げます。

日本人学校の教育活動の維持のため、国営電力公社エスコム(ロードシェーディング)の計画停電(ロードシェーディング)が頻発しても、子供たちの学習環境が維持でき、教室の照度不足やジェネレーター稼働時の騒音などを避けることができるようになります。何より子供たちの教育活動の維持には、電気柵への通電は常に必要となります。(※南ア政府の方針として、通電できない場合は、直ちに休校措置となります。)

さらに学校という公共性を考えると、緊急避難先としての役割にも貢献できる可能性があります。今回の工事は、全ての照明のLED化、夜間照明ライトの復旧工事も兼ねており、より安全面での向上が期待できます。

工事後の改善状況については、追ってご報告いたします。

